

東洋合成工業(株)



代表取締役社長
木村有仁 氏

立地の決め手

当社は、1954年に創業した企業で、医薬品用化学製品の製造・精製から社業を始めました。創業以来「当社の生命線は研究開発にある」を理念に、独創的な視点を大切に研究開発を続けております。

当社の顧客であるリチウムイオン電池及び電子材料メーカーは大阪湾周辺に集積しており、第一に関西地区顧客へのサービス向上を目指し候補地を選定しました。

選定に際しては、BCP（事業継続計画）対策及び行政の支援体制を重視しました。リチウムイオン電池及び電子材料関連事業を強化するにあたり、初期投資やランニングコストを低減することにより、顧客へ高品質かつ低価格の製品を世に送り出すことが必須です。幸いにも兵庫県・淡路市が一体となって、淡路工場の立地を全面的にバックアップいただいたことが、我々の事業構築に非常に重要でした。

今後の抱負

平成25年4月、環境にやさしい電気自動車やハイブリッド自動車に搭載されるリチウムイオン電池材料や半導体製造用電子材料の供給を主力事業として、淡路工場は操業を開始しました。兵庫県、淡路市、漁業組合ならびに地元の皆様の温かいご理解に沿えるよう、安全と環境に配慮した操業に取り組んでいく所存です。当社が長年培ってきた技術により、「あわじ環境未来島構想」を名実ともに実現していく所存です。今後とも、ご愛顧、ご支援の程よろしくお願いいたします。

操業

【敷地面積】

津名生穂地区 約5.05ha

【従業員数】

操業3年後までに約50人を予定

【事業内容】

リチウムイオン電池及び電子材料に用いる溶解液等の精製

